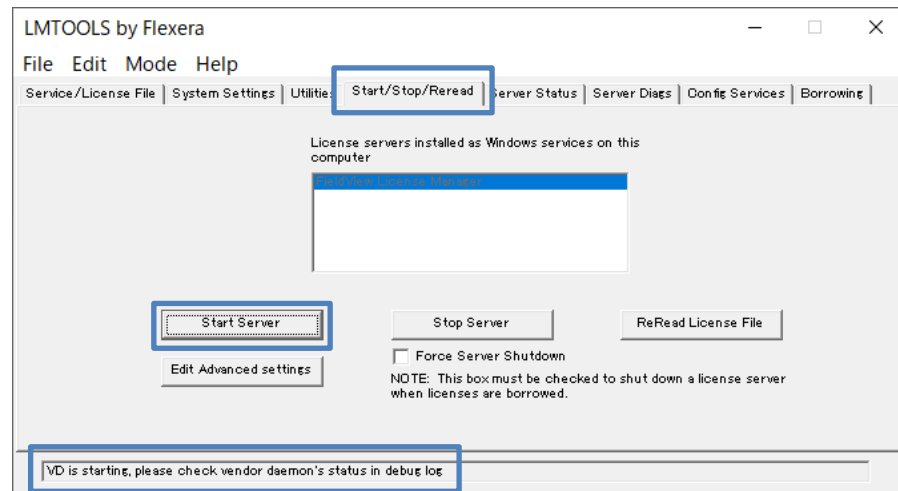


- エラーメッセージ

- LMTTOOLS にてStart Serverからライセンスサーバーを起動する際、ウィンドウの下部に以下のメッセージが表示される場合があります。

VD is starting, please check vendor daemon's status in debug log

- 次ページより想定される原因とその対処方法を解説します。
- 可能性が高い順に並べておりますので、原因 1 から順番にお試しください。
- またインストレーションガイドに記載のインストール手順や注意書きを改めてご一読ください。



- 原因 1 : ログファイルのフォルダ指定に誤りがある

- 対処方法

1. LMTOOLS ユーティリティにおいて、ログファイルの出力先を「**C:¥ProgramData**」の下に指定します。

例 C:¥ProgramData¥flexlm.log

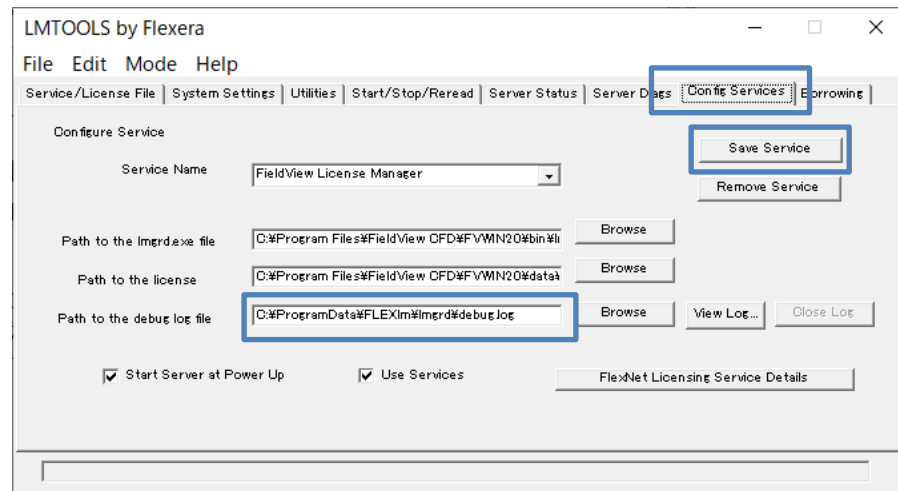
C:¥ProgramData¥flexlm¥flexlm.log

2. Save Service を押して保存します。

- <注意>

C:¥ProgramData は隠しフォルダになっています。

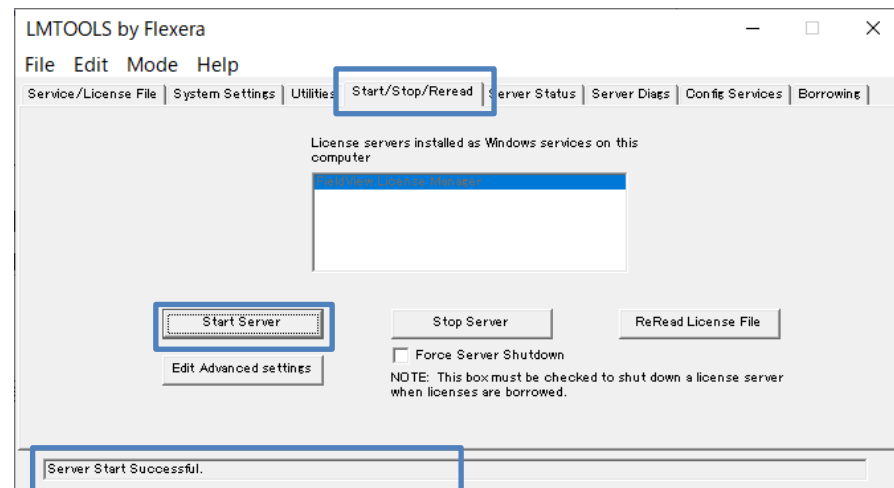
OSのバージョンごとに隠しフォルダの表示は異なりますので、インターネット等でお調べ下さい。



- エラーの解消確認
 - Start/Stop/Reread で Start Server を実行し、下記のメッセージが表示されることを確認してください。

Server Start Successful

- 以降も対処方法を実施したら、本ページのようにライセンスサービスが起動するかお試しください。



- 原因 2 : ライセンスファイルの書式・内容に誤りがある

- 対処方法

1. ライセンスファイルは以下の通り書式が決まっています。下記の内容を確認し、修正をしてください。

1	SERVER server01 001122334455 7788
2	DAEMON ilight "C:¥Program Files¥FieldView CFD¥FVWIN20¥bin¥ilight.exe"
3	INCREMENT pfv8 ilight 20.000 31-dec-2020 1 ##### ¥
4	VENDOR_STRING="fv every dg" SUPERSEDE ISSUED=5-dec-2014 ¥
5	SIGN="#### #### #### #### #### #### #### #### #### #### #### ¥
6	#### #### #### ####"

- 1行目 : server01 = **ライセンスサーバーのFLOAT SYSTEM NAME (ホスト名)** ※IPアドレスの直接指定もお試しく下さい。
001122334455 = **ライセンスサーバーのSERVER ID (MACアドレス)**
- 2行目 : **FieldViewのインストールフォルダの中の ilight.exe へのパス** ※ダブルクォーテーションも確認してください。
- 3,4,5,6行目 : 「¥」は削除してはいけません。
- 上記以外でよく誤りのある部分 : ① 1~6 行目の 改行を削除して、行を少なくしてしまう。
② 手入力すると、**大文字小文字が混在してしまう**。(コピー＆ペーストでの作成を推奨)
③ **SERVER ID (MACアドレス)** を誤った内容で申請してしまっている。(例 : bと6など)

- 原因 3 : ポート番号が他のアプリケーションと重複している

- 対処方法

- SERVER行ではデフォルトで7788番を使用します。DAEMON行は空いているポートを自動配番しますが、下記の例のように PORT=7789 と固定のポート番号を割り当てることができます。

1	SERVER server01 001122334455 7788
2	DAEMON ilight "C:\Program Files\FieldView CFD\FVWIN20\bin\ilight.exe" PORT=7789
3	INCREMENT pfv8 ilight 20.000 31-dec-2020 1 ##### ¥
4	VENDOR_STRING="fv every dg" SUPERSEDE ISSUED=5-dec-2014 ¥
5	SIGN="#### #### #### #### #### #### #### #### #### #### #### ¥
6	#### #### #### ####"

- 2つのポートの内どれかが、他のアプリケーションで使用するポート番号と重複している可能性があります。
- コマンドプロンプトの netstat コマンドなどでサーバー上のポート番号の使用状況をお確かめの上、空いているポート番号をご指定ください。
基本的にSERVER行は固定の7788番でお願いしております。

- 原因 4 : 旧バージョンのFieldViewのライセンスサービスが稼働している

- 対処方法

1. ライセンスマネージャ FLEXlm のバージョンが異なるFieldViewをインストールする場合、現在運用している**旧バージョンのFieldViewのライセンスサービスを一旦停止**してください。

2. 次に**新しいバージョンのFieldViewのLMTTOOLSから、ライセンスサービスの設定**をしてください。

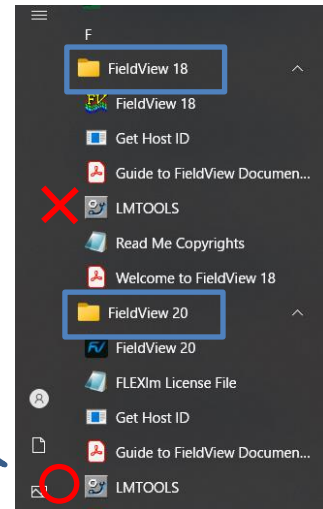
- ライセンスが対応していれば、最新のバージョンのLMTTOOLSで、1つライセンスサービスの設定をするだけで複数のバージョンのFieldViewを使用できます。

※最新ライセンスの仕様は <https://www.vinas.com/request/fv/fvrequest-verup.html> に記載しています

ただしライセンスサーバに保管しているライセンスファイルを、クライアントマシンのすべてのバージョンのFieldViewのdataフォルダに格納しておく必要があります。

- <注意> 稀にLMTTOOLSからライセンスサービスを停止できない場合があります。
その際は Windowsのサービス管理ツールから、停止をしてください。

新しいバージョンの
LMTTOOLSを使用



- 原因 5 : 異なるアカウント権限でライセンスサービスを設定している

- 対処方法

1. Windowsのサービス管理ツールを開きます。
2. FieldViewのサービスを選択し、プロパティを開きます。
3. ログオン タブでアカウントの方が選択されている場合は、ローカルシステムアカウントに切り替えて、適用を押します。

- FieldViewをインストールする際にAdministrator権限で実行していない場合、このような設定になっていることがあります。

